

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第1部門第2区分  
 【発行日】令和3年9月30日(2021.9.30)

【公開番号】特開2021-102095(P2021-102095A)  
 【公開日】令和3年7月15日(2021.7.15)  
 【年通号数】公開・登録公報2021-031  
 【出願番号】特願2021-59038(P2021-59038)  
 【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 0 4 D

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】令和3年8月20日(2021.8.20)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

遊技球が流下可能な遊技盤を有する遊技機において、  
前記遊技盤に設けられる始動口への入球に基づいて判定を行う判定手段と、  
前記判定手段による判定の結果に基づいて図柄変動を行う図柄変動手段と、  
前記図柄変動にて所定の態様が現れると、遊技者に特典を付与しうる特典付与手段と、  
演出に関わる制御を行う演出制御手段と、  
前記演出制御手段による制御によって動作可能な可動体と  
を備え、  
前記演出制御手段は、  
前記可動体を動作させる可動体動作時期が予め設定されている特定状態を、前記始動口  
への入球とは別の特定条件が成立したことに基いて発生可能な特定状態発生手段と、  
前記可動体が正常位置にないとき、該可動体に対して復元動作を行わせる処理を実行可  
可能な復元処理手段と、  
を有しており、  
前記特定状態が発生しておらず且つ前記可動体が正常位置にない状況において特定の復  
元時期が到来すると、該特定の復元時期が到来したことを契機として、該可動体に対して  
復元動作を行わせる処理を開始可能であるが、  
前記特定状態が発生しており且つ前記可動体が正常位置にない状況においては、前記特  
定の復元時期が到来してもこれを契機として復元動作を行わせる処理を開始させることは  
なく、前記特定状態内における所定期間で復元動作を行わせる処理を開始可能であり、  
さらに、  
当該遊技機が特別の状態になったことが判定された場合、複数種類の報知音のうち特別  
の報知音を可聴出力させる報知音出力手段と、  
音量設定値の変更を受け付ける音量設定値受付手段と、  
前記音量設定値受付手段による音量設定値に基づいて音量を調整可能な音量調整手段と  
を備え、  
前記特別の報知音が可聴出力されている状態において音量設定値の変更が複数回受け付  
けられた場合、前記特別の報知音の可聴出力が終了された以降に、それまでの音量設定値

の変更が順次に反映されることなく、該特別の報知音の可聴出力が終了された時点で設定されている音量設定値だけが反映される

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

本発明は、

遊技球が流下可能な遊技盤を有する遊技機において、

前記遊技盤に設けられる始動口への入球に基づいて判定を行う判定手段と、

前記判定手段による判定の結果に基づいて図柄変動を行う図柄変動手段と、

前記図柄変動にて所定の態様が現れると、遊技者に特典を付与しうる特典付与手段と、

演出に関わる制御を行う演出制御手段と、

前記演出制御手段による制御によって動作可能な可動体と

を備え、

前記演出制御手段は、

前記可動体を動作させる可動体動作時期が予め設定されている特定状態を、前記始動口への入球とは別の特定条件が成立したことに基づいて発生可能な特定状態発生手段と、

前記可動体が正常位置にないとき、該可動体に対して復元動作を行わせる処理を実行可能な復元処理手段と、

を有しており、

前記特定状態が発生しておらず且つ前記可動体が正常位置にない状況において特定の復元時期が到来すると、該特定の復元時期が到来したことを契機として、該可動体に対して復元動作を行わせる処理を開始可能であるが、

前記特定状態が発生しており且つ前記可動体が正常位置にない状況においては、前記特定の復元時期が到来してもこれを契機として復元動作を行わせる処理を開始させることはなく、前記特定状態内における所定期間で復元動作を行わせる処理を開始可能であり、

さらに、

当該遊技機が特別の状態になったことが判定された場合、複数種類の報知音のうち特別の報知音を可聴出力させる報知音出力手段と、

音量設定値の変更を受け付ける音量設定値受付手段と、

前記音量設定値受付手段による音量設定値に基づいて音量を調整可能な音量調整手段とを備え、

前記特別の報知音が可聴出力されている状態において音量設定値の変更が複数回受け付けられた場合、前記特別の報知音の可聴出力が終了された以降に、それまでの音量設定値の変更が順次に反映されることなく、該特別の報知音の可聴出力が終了された時点で設定されている音量設定値だけが反映される

ことを特徴とする。